

ネパール国の私の経験等から 見える課題と方向性



元ネパール国 JICA 専門家 佐伯孝志

自己紹介

- バックグラウンド
 - ✓ 四国松山の地方水道で約20年勤務経験
 - ✓ 専門は土木（キーワード：計画・維持管理・管路）
 - ✓ **実は学歴・文系**（総合政策、人文科学）
- 専門家経験
 - ✓ ラオス国（MAWASU）技プロ専門家・上水道計画（2016年2月～2017年8月）
 - ✓ **ネパール国個別専門家・WASHアドバイザー（2017年11月～2019年12月）**
 - ✓ **【現在】カンボジア国技プロ専門家・水道行政（2021年6月～2022年7月）**
- ネパールでの活動経験
 - ✓ 配属機関：給水省（所管：上下水道）
 - ✓ 案件監理支援やアドバイス（日・ネ）
 - ✓ CPへの技術的支援（ワークショップ等の開催を含む）



ネパール国の地勢的事情等



- ネパール国の地勢は、森林など自然環境に恵まれ、国の面積は約 1 4 万 km² (北海道・九州・四国をひとつにしたぐらい)
- 南北に北の標高 8 0 0 0 m 程度のヒマラヤ山脈から南の標高 6 0 m 程度のインド国境沿いまで世界有数の標高差
- 年間降水量は 1 5 0 0 mm 程度 (カトマンズ) 雨季 (7 - 9 月) に年間降水量の 9 割程度が集中
- 水量の安定的な河川 (Karnali川、Gandak川、Koshi川等) が少ない
- 地下水は、概ね水質は良好であるが、鉄・マンガンの傾向あり。限定地区で、ヒ素・フッ素・アンモニアが検出も

ネパール国の諸元



- セクター概要

- ① 水行政

- ・ 上下水道セクター全般を水道省（MoWS）が統括（水道行政）
 - ・ 農村部と小規模都市の施設建設等は上下水道局（DWSSM）

- ② 各水道事業体

- ・ 首都：カトマンズ盆地水道公社（KUKL（PPP））
 - ・ 主要都市①：ネパール水道公社（NWSC（国営））
 - ・ 主要都市②：給水管理理事会（WSMB（地方自治））
 - ・ その他小規模：水利用衛生委員会（WUSC）

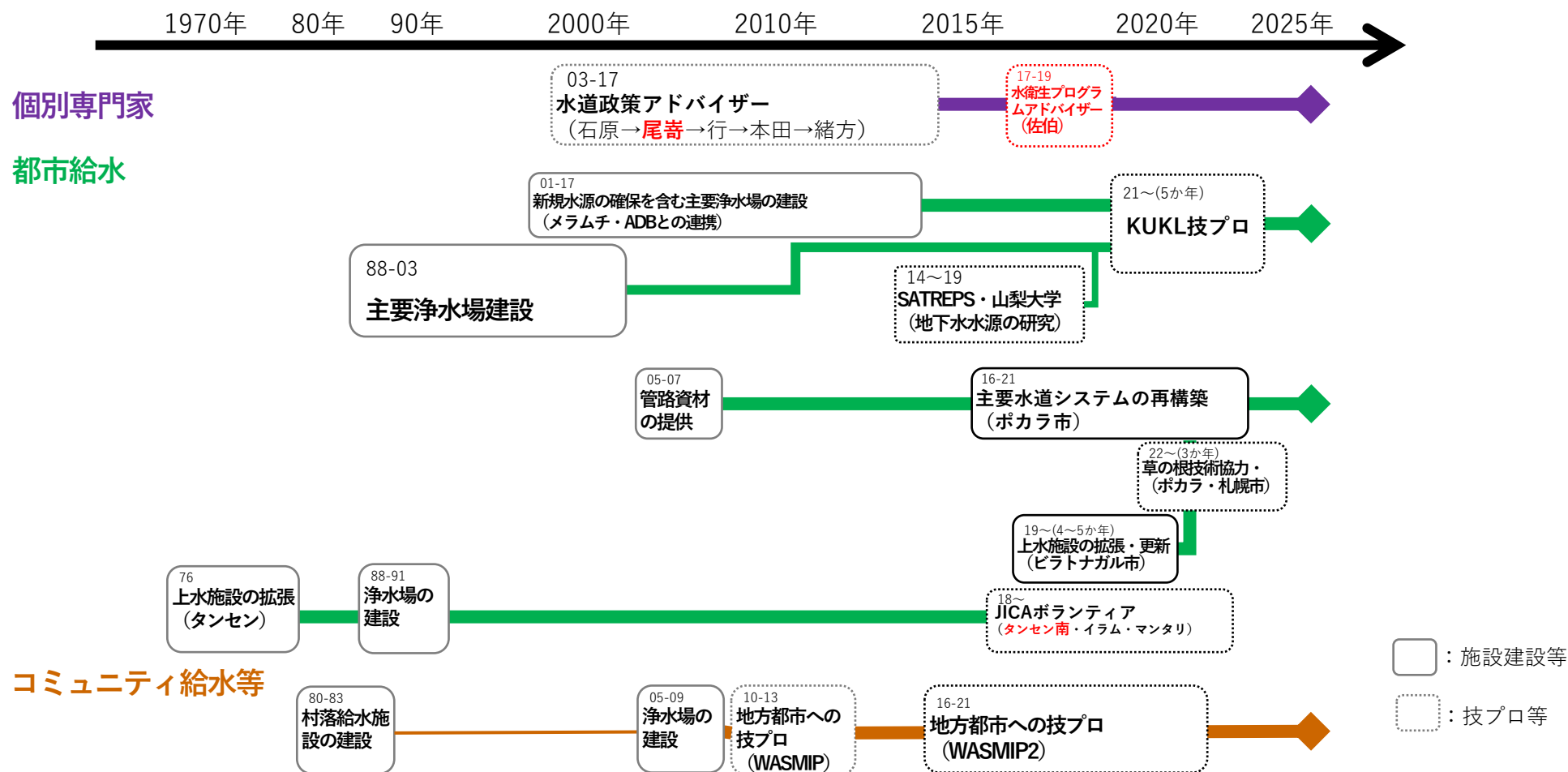
赴任中お世話になったCP等の横顔（各レベル一部）

	水行政	公営水道 （主要地方都市）	首都水道サービス公社 （幹部）	首都水道サービス公社 （若手幹部）
名前	Mr.Jyoti Kumar Shrestha 	Dr.Bhupendra Prasad 	Mr.Satish Kumar Dutte 	Mr.Rabindra Pokhrel 
所属	給水省	ネパール水道公社	カトマンズ盆地水道公社	カトマンズ盆地水道公社
ポジション	事務次官補	GM	技術部長	計画部長
一言メモ	瞑想好き	ブペンドラ兄弟 （7人兄弟）の長男	真面目で日本好きの おっちゃん	将来期待！Waquac- netメンバー

※ 赴任当初、まずはメンバーリストを作って顔と名前を覚える！

日本側協力の変遷

- ・ 協力は、上水施設建設から技術協力も絡めたものに！



ネパール発展の課題（数値化できない背景）

• なぜ水道セクターの開発が進んでいないように見えるのか？

（私案回答）

1. 社会的安定が水道を含むインフラの土台にあり、その安定が必要不可欠である（電力事情も不安定や物流不足は装置産業に影響大、）
2. 複数労働組合などのストライキによる集団行動が活発（技術の蓄積不足）
3. 人と金の管理が集約
（背景：出稼ぎ国、カースト制度、エンジニア不足、クロスサブシティ）

= 社会的な不安定禍では、セクターや組織として頑張りにくい状況があった
= しかし、徐々に改善され、水道セクター開発に進展の期待！



ありがとうございました

E-mail : SAIKI.TAKASHI@OUTLOOK.JP

